
日本情報考古学会会報

No. 2

1996(平成8)年12月

目 次

日本情報考古学会第3回大会のご案内	2
日本情報考古学会第3回大会「研究発表」の募集	2
学会誌の論文募集	3
学会賞候補者推薦のお願い	3
日本情報考古学会第2回大会報告	3
「情報考古学」に記載の本学会役員名簿の訂正とお詫び	4
第3回理事会議事録	5
第4回理事会議事録	6

BULLETIN OF JAPAN SOCIETY FOR ARCHAEOLOGICAL INFORMATION
No. 2 Dec. 1996

会 告

日本情報考古学会第3回大会のご案内

期 日:1997年3月22日(土)・23日(日)
 会 場:帝塚山大学キャンパス(〒631 奈良市帝塚山7丁目1-1)
 主 催:日本情報考古学会・日本情報考古学会大会総会委員会
 事務局:〒631 奈良市帝塚山7丁目1-1
 帝塚山考古学研究所内(TEL:0742-48-9700 FAX:0742-43-1074)

* 会員・非会員ともに参加費は無料。予稿集は会員無料、非会員1000円。

日本情報考古学会第3回大会「研究発表」の募集

会告の通り、第3回大会を1997年3月22日(土)・24日(日)の両日、帝塚山大学キャンパスを会場として開催いたします。

開催に当り、会員各位に個人またはグループでの研究発表を次の要領で広く募集いたします。研究発表を希望される方は、情報考古学会事務局あてお申し込み下さい。多数のご応募を期待しております。

1. 研究発表について

1) 発表内容 遺物・遺構形状の計測技術、あるいはそれらのデータの計量分析、理化学的データの収集とその解析手法、考古学的事象をめぐるコンピュータ・シミュレーション、インターネットなど新たな通信基盤を介しての研究者間のデータ共有や共同研究をめぐる技術、多様な考古学的情報に関わる幅広い分野の学際的研究を募ります。

2) 発表時間 質疑応答を含んで、発表1件当たり30分を予定しています。(発表件数などによって変更することすることがありますのでご了承ください。)

2. 発表の申し込みについて

1) 申込方法 同封の申込書に必要事項を記入の上、期限内に事務局までご送付ください。

2) 申込期限 1997年1月16日(木)(当日消印有効。申込が多い場合は先着順とします)

3. 予稿の提出について

1) 予稿枚数 図版を含めてA4用紙6枚程度。所定の枠内に原稿を書くか貼り込むかプリンターで印字して下さい。発表申込者には用紙見本をお送りします。

2) 予稿締切 1996年2月28日(金)学会事務局に必着のこと。

4. 予稿集の編集について

1) ご送付いただいた原稿を直接写真製版いたしますので、筆者による校正の機会はありません。完全原稿をご提出下さい。

2) 提出された予稿の原稿は、原則として返却いたしません。予め各自でコピーを保存して下さい。

5. 発表資格

発表者に一人以上の会員が含まれることが応募の条件となります。

会 告

日本情報考古学会第3回大会のご案内

期 日:1997年3月22日(土)・23日(日)
 会 場:帝塚山大学キャンパス(〒631 奈良市帝塚山7丁目1-1)
 主 催:日本情報考古学会・日本情報考古学会大会総会委員会
 事務局:〒631 奈良市帝塚山7丁目1-1
 帝塚山考古学研究所内(TEL:0742-48-9700 FAX:0742-43-1074)

*会員・非会員ともに参加費は無料。予稿集は会員無料、非会員1000円。

日本情報考古学会第3回大会「研究発表」の募集

会告の通り、第3回大会を1997年3月22日(土)・24日(日)の両日、帝塚山大学キャンパスを会場として開催いたします。

開催に当たり、会員各位に個人またはグループでの研究発表を次の要領で広く募集いたします。研究発表を希望される方は、情報考古学会事務局あてお申し込み下さい。多数のご応募を期待しております。

1. 研究発表について

1)発表内容 遺物・遺構形状の計測技術、あるいはそれらのデータの計量分析、理化学的データの収集とその解析手法、考古学的事象をめぐるコンピュータ・シミュレーション、インターネットなど新たな通信基盤を介しての研究者間のデータ共有や共同研究をめぐる技術、多様な考古学的情報に関わる幅広い分野の学際的研究を募ります。

2)発表時間 質疑応答を含んで、発表1件当たり30分を予定しています。(発表件数などによって変更することすることがありますのでご了承ください。)

2. 発表の申し込みについて

1)申込方法 同封の申込書に必要事項を記入の上、期限内に事務局までご送付ください。

2)申込期限 1997年1月16日(木)(当日消印有効。申込が多い場合は先着順とします)

3. 予稿の提出について

1)予稿枚数 図版を含めてA4用紙6枚程度。所定の枠内に原稿を書くか貼り込むかプリンターで印字して下さい。発表申込者には用紙見本をお送りします。

2)予稿締切 1996年2月28日(金)学会事務局に必着のこと。

4. 予稿集の編集について

1) ご送付いただいた原稿を直接写真製版いたしますので、筆者による校正の機会はありません。完全原稿をご提出下さい。

2) 提出された予稿の原稿は、原則として返却いたしません。予め各自でコピーを保存して下さい。

5. 発表資格

発表者に一人以上の会員が含まれることが応募の条件となります。

学会誌の論文募集

本学会の研究論文誌「情報考古学」Vol. 1, No. 1 が刊行されましたが、引き続き会誌編集委員会では、Vol. 2, No. 1、Vol. 3, No. 1 の編集を進めております。(学会誌は年2回発行することになっていますが、昨年度と同様今年度も年1回としますので御了承下さい。)多くの会員の方から論文が投稿されることを期待しております。なお、論文の執筆要項につきましては「情報考古学」Vol. 1, No. 1 の83ページを参照願います。論文に関する問い合わせ及び投稿先は以下の通りです。

〒101 東京都千代田区一ツ橋 2-13-7

共立女子短期大学生活科学科 植木武(会誌編集委員会副委員長)

Tel : 03-3237-2524 Fax : 03-3237-2692

(会誌編集委員会委員長 大塚初重)

学会賞候補者推薦のお願い

11月25日(月)に開催された理事会で、以下のような学会賞を設けることが決まりました。

1) 学会賞の名称及び内容

日本情報考古学会の発展及び情報考古学の研究に貢献した会員に対し、本学会は次の三つの賞を授与し、その功績を顕彰する。

①日本情報考古学会賞

日本情報考古学会の発展に著しく貢献した者を対象とする。毎年1名を原則とする。

②日本情報考古学会論文賞

情報考古学に関する優れた論文を対象とする。毎年1～2件を原則とする。

③日本情報考古学会優秀賞

情報考古学に関する優れた業績を示した若手研究者を対象とする。毎年1～2件を原則とする。

2) 学会賞の選考方法

会員から推薦のあった受賞対象者の中から選考委員会が候補者を選考し、理事会で決定する。なお、選考委員会は日本情報考古学会会長、会誌編集委員会委員長、広報委員会委員長、大会・総会委員会委員長、総務・会計委員会委員長より構成する。ただし必要に応じ、理事会が選出した若干名を委員として委嘱することができる。

3) 発表

毎年3月の学会総会において発表し授与式を実施する。

つきましては各賞の推薦書を同封致しましたので、学会賞候補者を1997年1月16日までに学会事務局へ御推薦下さい。

日本情報考古学会第2回大会報告

第2回大会が9月28日(土)、29日(日)の2日間にわたり統計数理研究所で開催され、小沢一雅先生の特別講演「考古学と情報工学」を含め、以下の13件の発表があり、盛会のうちに終わりました。

1. 「前方後円墳の築造規格—前期から中期について—」

西村淳(函館大学)

2. 「前方後円墳から考察する大和中央政権と東国地方政権との構造的関連(Ⅲ)ー関東地方を俯瞰してー」

植木武(共立女子短期大学)、大塚初重(明治大学)、梅沢重昭(群馬大学)
岸野洋久(東京大学)、村上征勝(統計数理研究所)

3. 「集落変遷シミュレーションシステム VisTA について」

門林理恵子、エドゥアルド ネーテル、間瀬健二
((株)エイ・ティ・アール知能映像通信研究所)

4. 「資料情報の定性分析と情報資源形成ーデータを考えるー」

八重樫純樹(静岡大学)

5. 「考古学報道とマスコミー日本とアメリカの事例からー」

宮代栄一(朝日新聞東京本社学芸部)

6. 特別講演「考古学と情報工学」

小沢一雅(大阪電気通信大学)

7. 「心の考古学ー日本人の心のルーツー」

望月清文(KDD研究所)

8. 「先史時代ワールドモデルにおける農耕セクターの改良

ー農耕人口・耕地拡大・生産性の関係についての考察ー」

原俊彦(北海道東海大学)、植木武(共立女子短期大学)

9. 「VR技術を利用する遺物の破片からの復元」

金谷一朗、陳謙、千原國広(奈良先端科学技術大学院大学)

10. 「貝玉の形状と計測」

小日置晴展(国際基督教大学考古学研究センター)

11. 「9世紀の土師器の変遷」

吉川義彦(関西文化財調査会)

12. 「近世壺屋焼の多変量解析」

小田静夫(東京都教育庁文化課)、中津由紀子(国際基督教大学考古学研究センター)、橋本真紀夫(パリオ・サーヴェイ株式会社)

13. 「『高千穂の夜神楽』の計量分析」

緒方俊輔(高千穂町教育委員会)

なお、参加者は86名で、懇親会の参加者は32名でした。

「情報考古学」に記載の本学会役員名簿の訂正とお詫び

「情報考古学」Vol. 1, No. 1の85ページに記載しました本学会役員一覧に記載漏れ等のミスがありました。お詫び申し上げます。なお本学会の役員は以下の通りです。

日本情報考古学会役員一覧 (1995～1997年度)

会 長 理 事	堅田 直			
	池田 次郎	岩井 宏實	植木 武	植村 俊亮
	大塚 初重	堅田 直	清水 良一	杉田 繁治
	千原 國宏	坪井 清足	鳥居 宏次	中津 良平

	林 知己夫	樋口 隆康	村上 征勝	安井 良三
	横見 博之	渡邊 直經		
監 事	都司 達夫	水野 正好		

会誌編集委員会

委員長	大塚 初重			
副委員長	植木 武			
委員	大城 理	西村 淳	松井 章	山田 康晴
	吉川 正俊	吉野 諒三		
担当理事	植村 俊亮	横見 博之		

広報委員会

委員長	佐藤 宏介			
委員	稲津 暢洋	井上 誠喜	岡本 武司	岡安 光彦
	緒方 俊輔	小田 静夫	久保 伸洋	高橋 真美
	本間 元樹	間瀬 健二	三瓶 裕司	宮原 健吾
担当理事	千原 國宏	村上 征勝		

大会・総会委員会

委員長	石野 博信			
委員	井上 誠喜	土橋 誠	西村 鋼児	宝珍 輝尚
	本間 元樹	間瀬 健二	百瀬 正恒	山田 幸弘
	吉川 義彦			
担当理事	鳥居 宏次	中津 良平		

総務・会計委員会

委員長	森 郁夫			
委員	今井 正和	上原 邦彦	中津由紀子	
担当理事	池田 次郎	岩井 宏實		

第3回理事会議事録

1996年6月28日 於：帝塚山考古学研究所

1. 第2回大会について

第2回大会を9月28日(土)・29日(日)に統計数理研究所(東京)で開催する。

2. 理事会の開催について

今後、理事会は7月(第4月曜日)、11月(第4月曜日)及び3月の大会前日の年3回開催する。

3. 理事の変更

葉原理事より辞任したい旨の申し出があったのでこれを了承し、新たに樋口隆泰会員を選出した。なお、この理事の変更については次回の総会で了承を得ることとなった。

4. 論文誌の発行について

今年度内に学会誌 Vol. 1, No. 1 を発行する。

5. 学会賞について

次回理事会までに、村上理事が原案を作成する。

6. 来年度以降の学会事務局について

来年度以降の学会事務局をどこに置くかについては引き続き検討することとなった。

第4回理事会議事録

1996年11月25日 於：手塚山考古学研究所

1. 学会賞について

日本情報考古学会の発展及び情報考古学の研究に著しく貢献した会員に対し、以下の三つの賞を授与し、その功績を顕彰することとなった。

- ① 日本情報考古学会賞
- ② 日本情報考古学会論文賞
- ③ 日本情報考古学会優秀賞

なお、各賞の内容、選考方法、発表等については「学会賞候補者推薦のお願い」(本会報3ページ)を御覧下さい。

2. 第3回大会開催について

第3回大会は3月22日(土)・23日(日)に帝塚山考古学研究所で開催する。

3. 平成9年度の大会開催について

第4回大会は国立歴史民俗博物館

第5回奈良先端科学技術大学院大学或いはATRで開催する。

4. 学会論文誌の発行について

- ・ 今年度の学会誌の発刊は一卷のみとする。
- ・ Vol. 2, No. 1は3月の大会時までに発刊できるように編集を急ぐ。論文の〆切は1997年1月11日。なお、Vol. 2, No. 1以降論文には英文のアブストラクトをつける。
- ・ Vol. 3, No. 1はVol. 2, No. 1と同時に編集を進める。
- ・ 論文誌には当分広告を載せない。
- ・ 勉誠社で学会誌を販売する件については勉誠社と詳細をつめる。
- ・ 副編集委員長を植木 武理事とする。

5. インターネットのホームページの復活について

インターネットのホームページの復活について関しては、次回までに鳥居理事・上村理事を中心に検討する。

6. ニュースレター第2号の発刊について

ニュースレターは村上理事が中心となり、近日中に発行する。

7. 来年度以降の学会事務局について

来年度以降の学会事務局をどこに置くかに関しては次回までに検討する。

8. その他

宮代広報委員長より委員長を辞任したい旨の申し出があったのでこれを了承し、新広報委員長として佐藤委員を選出した。

日本情報考古学会会報 No. 2

発行日 1996年12月5日
発行者 日本情報考古学会広報委員会
事務局 〒631 奈良市帝塚山 7-1-1
帝塚山考古学研究所内
Tel/Fax : 0742-48-9700/43-1074